あなたと
議会をむすぶ

No.189　発行／山梨県議会　〒400-8501　甲府市丸の内1-6-1　TEL 055-223-1814　令和8年（2026年）11月22日（日）（1）

やまなし県議会だより



長崎知事に「インドとの互恵的な関係構築に向けた提言」を手交

九月定例会の概要

県議会は、令和八年九月定例会を九月二十五日から十月十五日までの二十一日間の日程で開催しました。

開会日には、長崎幸太郎知事が令和八年度一般会計補正予算案などを提出しました。

提案理由説明において知事は「賃金アップこそ県民生活強靱化の一丁目一番地」と強調した上で、物価高騰により厳しい経営環境が続く中にあっても賃上げに踏み切る中小企業に対し、時限的かつ緊急的な措置として企業に対する直接支援金制度を創設するとの考えを示しました。

また、県議会が知事に提出した「インドとの互恵的な関係構築に向けた提言」の趣旨を本補正予算に最大限反映していると述べるとともに、世界各国がグリーン水素の社会実装を進める中、本県は水素に関する知見、人材、企業、投資が集積する国際的な知の拠点を目指し、その成果を県内産業の成長と県民所得の向上につなげるとの決意を表明しました。

九月三十日、十月一日、五日及び六日の四日間は、知事の提案理由説明を踏まえ、代表・一般質問を行いました（詳細は二面）。さらに六日には、令和七年度一般会計及び各特別会計などの決算を審査するため、決算特別委員会を設置しました（詳細は四面）。

また十月七日には、農政産業観光及び土木森林環境の各常任委員会を、翌八日には総務及び教育厚生の各常任委員会を開催し、付託案件及び所管事項の審査を行いました（詳細は三面）。

定例会最終日の十月十五日の本会議では、同日追加提出された議案を含め総額百三十五億六千二百二十二万二千円の令和八年度一般会計補正予算案をはじめ、監査委員、公安委員、教育委員の同意案件、議員提出の「私学助成の充実強化等に関する意見書」など二十一案件を可決・承認・同意して閉会しました。

宮本秀憲議長は、閉会のあいさつの中で「今月開催される富士ハイドロジェン・サミット二〇二六を通じて水素・燃料電池関連産業の一層の発展が促され、将来を支える産業基盤の強化と地域経済の活性化につながることを大いに期待する」と述べました。

「インドとの互恵的な関係構築に向けた提言」を手交

九月九日、県議会はインド・ウッタル・プラデーシュ州（UP州）訪問で得られた調査成果を踏まえ、「インドとの互恵的な関係構築に向けた提言」を知事に提出しました。

この提言では、水素、投資・企業連携、観光・県産品輸出、人材交流の各分野について、本県の持続的な発展と地域経済の活性化を目指し、具体的な施策を提案するとともに、県に対して積極的な取組を求めています。（今回のUP州訪問の詳細は四面）

提言の内容はこちらからご覧いただけます。

県議会トピックス

山梨・神奈川・静岡三県議会意見交換会



10月21日に山梨県富士山科学研究所（富士吉田市）で山梨・神奈川・静岡三県議会の意見交換会が行われました。本県からは、宮本秀憲議長（写真右から3人目）と長澤健副議長（同右端）が出席し、富士山火山防災対策をテーマに各県の取組状況等について意見を交わした後、同研究所などを視察しました。

「山梨県議会議場コンサート2026」を開催



9月定例会の開会に先立ち、山梨交響楽団による「山梨県議会議場コンサート2026」が開催されました。

議場では、ヨセフ・スーク作曲『弦楽セレナーデ・変ホ長調　作品6』が演奏され、議員や来場者が交響楽団の奏でる名曲を満喫しました。

県議会のホームページもご覧ください。定例会の日程や会議録の検索など、議会の情報が満載です。本会議のインターネット中継も見ることができます。
山梨県庁ホームページの中段、県政情報にある「県議会」から入ることができます。（ホームページアドレス　https://www.pref.yamanashi.jp/gikaisom/index.html）

9月定例会では、9月30日～10月6日のうち4日間にわたり、代表質問・一般質問を行いました。
各議員の質問項目は次のとおりです。(二次元コードを読み込むと質問の録画配信をご覧いただけます)

代表質問



自由民主党　政風やまなし
卯月　政人

- インド訪問における成果と今後の取り組み
- 国際水素サミット
- 賃金水準の引き上げに向けた取り組み
- 富士山官民共創コンソーシアムの取り組み
- 生活困窮世帯への新たな支援策
- 物価高騰下における子育て世帯への支援
- 人口減少対策プロジェクトの成果を踏まえた施策展開
- 第六次山梨県男女共同参画計画の策定
- 行政DXの推進
- 地域防災力の更なる強化
- 富士山における無謀登山の抑止対策
- 地域産業クラスターの形成
- 県東部地域の幹線道路の整備
- 子どもの体力向上



自由民主党新緑の会
小沢　栄一

- 若者の挑戦や成長を後押しする取組
- 仕事と子育ての両立支援
- プレコンセプションケアの推進
- アドバンスト・エッセンシャルワーカーの育成
- 県立高校の抜本的な教育改革
- 流域治水の推進
- クビアカツヤカミキリへの対応
- 野生鳥獣害対策
- 中山間地域の農業振興と生産基盤の強化
- 空飛ぶクルマの社会実装に向けた取り組み
- 第八十一回国民スポーツ大会冬季大会の成功及び令和十四年の国民スポーツ大会・全国パラスポーツ大会に向けた取り組み
- 県警察における犯罪被害者等に対する支援



未来やまなし
古屋　雅夫

- インド訪問の成果
- 人口減少対策における若者支援
- 県財政の中期見通し
- 今後の電気事業における財務運営
- 県有林の新たな収入確保
- 少人数教育の六年間の成果と課題の検証状況
- スリーアップの好循環に向けた更なる取り組み
- 本県におけるスタートアップ振興
- 山地災害対策の推進
- 高齢者と家族を支える体制の確保
- 障害のある方などへの情報提供の充実
- 桃の消費拡大

一般質問



藤本　好彦
(自由民主党　政風やまなし)

- 熊本地震の教訓を生かす「自助・共助・受援」による災害に強い地域づくり
- 戦争の記憶を次世代へつなぐ平和と記憶の継承の取り組み
- 山梨県の豊かな農業と農村を守る条例施行後の取り組み
- 将来にわたり米を作り続けられる山梨県の実現
- 横川流域における流域治水の取り組みと今後
- 県営水力発電所を支える人材確保・技術継承
- 県警察とともに地域の安全・安心を守る高校生ボランティアの活性化
- ランティア等の若い世代の防犯ボ



渡辺　大喜
(自由民主党新緑の会)

- 富士山噴火時の対応
- 新たな地域医療構想の策定
- 子どもの国際交流
- インドからの人材確保に向けた取り組み
- 水素社会を担う人材の育成
- 介護待機者ゼロに向けた取り組み
- 富士山官民共創の枠組みで目指す効果



久嶋　成美
(自由民主党　政風やまなし)

- 女性の安全・安心を支える体制の構築
- ケアラー支援の今後の取り組み
- 五歳児健診の推進
- 若年層の投票率向上への取り組み
- 地域防災活動の横展開と次世代を担う防災人材の育成
- 特色ある県産農畜水産物の販路拡大
- 上野原市及び北都留郡地域の道路整備



浅川　力三
(自由民主党・開の国)

- 中部横断自動車道長坂以北の事業化に向けた取り組み状況
- 国際水素サミットの開催と水素社会実現に向けた今後の展開
- がん対策の推進
- ツキノワグマ対策の推進
- 本県の畜産振興を支える流通基盤の強化
- 農業の担い手確保・育成
- 移住・定住及び二拠点居住の促進
- 本県におけるスポーツツーリズムの推進
- 八ヶ岳南麓エリアの観光振興
- 丘の公園の今後の展望と八ヶ岳南麓地域の活性化
- 県有林の有効活用
- 主要地方道茅野北杜韮崎線の整備
- 少人数教育の推進



石原　政信
(自由民主党　政風やまなし)

- 水素の海外展開に向けた取り組み
- 若手職員による政策立案
- シェアリングモビリティを活用した公共交通の利便性向上
- 生活習慣病の予防に向けた減塩対策の推進
- 県道甲府市川三郷線における無電柱化の推進
- 全国高等学校総合体育大会に向けた開催準備
- いわゆる闇バイトの対策と少年に対する危険性の注意喚起



白壁　賢一
(自由民主党・開の国)

- インド訪問を踏まえた観光振興の取り組み
- 自殺防止対策の推進
- 森林環境保全基金事業
- 水素社会実現を牽引する地域産業クラスター計画
- 観光人材の育成
- 酪農家の所得向上に向けた取り組み
- 国道百三十七号新たな御坂トンネルの整備
- 教員の人材確保対策
- 第十二次山梨県交通安全計画



名取　泰
(日本共産党)

- 物価高騰・中東情勢の影響と対策
- 賃上げ支援
- 介護保険事業支援計画
- 教育費の負担軽減と教育環境の整備
- 県内重要施設の上下水道の耐震化
- インド訪問団派遣事業
- 県有地問題



志村　直毅
(やまなし県民会議)

- 水素エネルギーの利活用
- 第六次山梨県男女共同参画計画
- 高次脳機能障害者支援
- 特定外来生物への対策
- 日本ワインミュージアム(仮称)
- 山岳遭難対策
- 県有地における保全抗告と承認申請

12月定例会の予定

12月　2日(水)本会議(開会)
　　7日(月)本会議(質疑・質問)
　　8日(火)本会議(質疑・質問)
　　9日(水)本会議(質疑・質問)
　　10日(木)本会議(質疑・質問)
　　11日(金)常任委員会
　　14日(月)常任委員会
　　15日(火)常任委員会
　　17日(木)本会議(閉会)

※ 現時点での予定であり、今後変更となる場合があります。

議案等に対する各会派の賛否（起立採決分）

議案の名称	議決結果	自由民主党政風やまなし	自由民主党新緑の会	未来やまなし	自由民主党・開の国	日本共産党	やまなし県民会議	えがお夢
知事提出議案								
第83号（山梨県中小企業者等の事業の再生を支援するための措置に関する条例中改正の件）	可決	○	○	○	○	×	○	○
第84号（山梨県建築基準法施行条例中改正の件）	可決	○	○	○	○	×	○	○
第85号（令和8年度山梨県一般会計補正予算（第7号））	可決	○	○	○	○	×	○	○
議員提出議案								
議第16号（自衛隊員の処遇改善及び退職自衛官の再就職促進に関する意見書）	可決	○	○	○	○	×	○	○

○：賛成　×：反対



その他の議案を含めた議員別の賛否はホームページでご覧いただけます。

可決・承認・同意された主な議案

- 山梨県職員の勤務時間、休日及び休暇に関する条例及び山梨県学校職員の勤務時間等に関する条例中改正の件
- 山梨県中小企業者等の事業の再生を支援するための措置に関する条例中改正の件
- 山梨県建築基準法施行条例中改正の件
- 令和八年度山梨県一般会計補正予算
- 契約締結の件
- 動産購入の件
- 訴えの提起の件
- 山梨県教育委員会委員の任命について同意を求めるの件
- 山梨県監査委員の選任について同意を求めるの件
- 山梨県公安委員会委員の任命について同意を求めるの件

可決された意見書

- 私学助成の充実強化等に関する意見書
- 自衛隊員の処遇改善及び退職自衛官の再就職促進に関する意見書

採択された請願

- 私学助成制度の堅持及び充実強化に関する意見書の提出を求めることについて

公式Facebookで情報発信しています。　県議会では、公式Facebookで議会活動の情報を発信しています。ぜひご覧ください。

委員会リポート

総務、教育厚生、農政産業観光及び土木森林環境の四常任委員会は、十月七日及び八日に令和八年度一般会計補正予算案等の付託された議案及び請願に係る審査を行い、同月十五日の本会議では、各常任委員長がその内容及び結果を報告しました。

総務委員会

委員長　石原 政信



賃上げ加速化緊急支援金

問 これまでの施策とは一線を画す、直接的な支援金を創設した理由は何か。また、制度の周知にどのように取り組むのか。

答 物価高騰に苦しむ県民生活の底上げや若者の県内への定着を図るためには賃金水準の引上げが重要であるが、中小企業を取り巻く経営環境は厳しさを増している。

こうした状況にあっても賃上げを行う中小企業に対し、県として連帯する意思を示し、後押しするため、時限的かつ緊急的な措置として中小企業への直接的な支援金を創設した。

山梨地方最低賃金審議会から新たな最低賃金額が答申された八月二十八日以降の賃上げを対象とし、申請受付は十二月の早い時期から開始する予定である。また、できるだけ多くの中小企業に制度を活用してもらえるよう、行政書士による申請代行支援を行う。

予算の議決後は、ホームページ等で制度の詳細や試算ツール、さらにはQ&Aを掲載するなど、分かりやすい周知に努める。加えて、経済団体と連携し、商工会等に向けた説明会の開催なども実施していく。

【その他の主な質問事項】
・県有施設避難生活環境改善事業費
・動産購入の件

無痛分娩提供体制強化事業費

問 ライフプラン・キャリア形成支援として無痛分娩の導入や実施体制の強化に取り組む医療機関を支援するとのことだが、本事業の助成対象となる具体的な内容と、この事業の効果は。

答 本事業では、関係学会等が実施する医師、助産師及び看護師向け講習会の受講費や、無痛分娩に関する知識・技術の習得及び向上を目的とした講習会の開催費、無痛分娩を実施している分娩取扱医療機関への派遣研修に要する経費、無痛分娩の実施に必要な麻酔投与用医療機器等の整備費について補助を行う。

本事業により、県内における無痛分娩の提供体制が強化され、妊産婦本人の希望に応じて出産できる環境が整備されることを通じ、本県で出産や子育てを選択する若者や子育て世代の増加につながり、若い世代に選ばれる山梨の実現に寄与するものと考えている。

【その他の主な質問事項】
・テクノロジーを活用した業務効率化分析実証事業費
・高校・地域連携教育体制構築事業費
・運動部活動地域展開推進事業費
・動産購入の件

教育厚生委員会

委員長　向山 憲稔



農政産業観光委員会

委員長　臼井 友基



賃上げ好循環推進生産性向上設備整備等支援事業費補助金

問 前回補助金の活用状況は。また、補助金の支給対象を、賃上げ加速化緊急支援金の受給事業者とした狙いは。

答 昨年度二月補正予算で実施した中小企業等生産性向上設備整備等支援事業費補助金については、申請件数が当初想定の一・五倍となり、申請総額も予算額にほぼ達するなど、事業者の設備投資意欲の高さがうかがえた。

長引く物価高騰や中東情勢の緊迫化など、企業を取り巻く経済環境は非常に厳しい。このような中、一定以上の賃上げを行った事業者を支援するため、時限的かつ緊急的に支給されるのが賃上げ加速化緊急支援金である。

本補助金の支給対象をこの支援金の受給対象者とした狙いは、当該支援金の受給事業者による生産性向上設備の導入や更新などを支援し、投資を促進することでさらなる賃上げ原資の確保につなげ、賃上げの好循環を一層進めていこうとすることにある。

【その他の主な質問事項】
・食の多様性対応支援事業費
・信玄公祭りブラッシュアップ事業費
・スポーツ競技団体基盤強化事業費
・重要病害虫防除費

特定外来生物防除費

問 農地以外でのクビアカツヤカミキリに対するこれまでの対策と今後の取組は。

答 本年七月に初めて県内で確認されて以来、全県の桜の樹を中心に八月から十月中旬にかけ、成虫だけでなく、卵や木の内部に潜り始めた幼虫にも効果のある薬剤を散布することにより面的な防除を実施している。

今後は、来年六月の成虫の発生に備え、被害が確認された樹木に対し、伐採処理や薬剤の樹幹注入、ネット巻きなどの防除を実施していく。

また、被害を最小に抑えるためには、幼虫による被害木の早期発見、早期防除が極めて重要なことから、現在、市町村や関係団体と連携しながら発生情報の収集に努めるとともに、専用の報告フォームを作成することにより県民からの情報収集にも努めている。

情報が寄せられた際は、速やかに現地確認を行い、被害状況に応じた適切な防除につなげていくとともに、ホームページや広報媒体を活用しながら被害の特徴や通報方法の周知を進め、地域ぐるみで監視体制の強化を図っていく。

【その他の主な質問事項】
・若者チャレンジ住宅モデル事業費

土木森林環境委員会

委員長　飯島 力男

議会活動の紹介

教育厚生委員会



福岡大学病院（写真:福岡市）を視察し、重症患者の搬送中も治療を継続できるECMOカーの導入など、高度急性期医療の取組状況を確認したほか、八女総合療育館（八女市）では医療と福祉の連携による障害児・者の支援等を、日本初の産業科を設置した東京都立八王子桑志高等学校では実践力を備えた産業人材の育成を調査しました。

総務委員会



ピースフルハウスはぐれ雲（写真:富山市）を視察し、不登校やひきこもりなどの困難を抱えた若者の社会的自立に向けた取組状況を確認したほか、YKK不動産（株）（黒部市）では自然エネルギーを最大限活用した持続可能なまちづくりを目指すパッシブタウン構想を、ふぁみーゆツダコマ（株）（金沢市）では障害者雇用の取組状況を調査しました。

土木森林環境委員会



名古屋大学脱炭素社会創造センター（写真:名古屋市）を視察し、脱炭素社会の実現に向けた都市の木質化や地域森林資源の活用に関する取組状況を確認したほか、中部インフラＤＸセンター（名古屋市）では建設現場におけるデジタル技術の活用を、岐阜県庁では道路の巡視・点検業務の効率化を調査しました。

農政産業観光委員会



一般社団法人しまなみジャパン（写真:今治市）を視察し、サイクリングを核とした広域観光振興の取組状況を確認したほか、タオル美術館（今治市）では地場産業と観光を融合した地域活性化を、道後温泉（松山市）では歴史的温泉資源を生かした観光まちづくりを調査しました。

常任委員会県外調査

各常任委員会では、議会閉会中に、それぞれ所管する事項の審議の参考とするため、県内外での調査活動を行っています。今回は、令和八年八月及び九月に実施した県外調査の主な状況について紹介します。

決算特別委員会を設置

令和七年度山梨県一般会計と各特別会計の歳入歳出決算の内容及び令和七年度公営企業会計（電気事業、温泉事業、地域振興事業、流域下水道事業）の決算内容を審査するため、決算特別委員会（卯月政人委員長）を十月六日の本会議で設置しました。

本特別委員会では、議会閉会後も継続して各会計の審査を行い、その結果を次回の定例会で報告する予定です。



委員長	卯月　政人
副委員長	流石　恭史
委員	也男美信仁彦健毅男夫幸子毅 渡辺島嶋原村田澤藤水屋田野村 飯久石中寺長伊清古久菅 淳力成政正義　喜雅松幹直

高校生議会を開催

本県の次代を担う高校生に県議会を体験してもらうことで、県政や県議会への理解と関心を深め、政治参加意識の向上を図ることを目的に、七月三十一日、高校生議会を開催しました。

当日は、県内の高等学校及び特別支援学校計十六校の生徒から、闇バイト対策やデジタル人材の育成、教員の働き方改革など、県政に関する提言が行われました。

これらの提言に対し所管の常任委員長・副委員長がそれぞれ講評を行い、最後に宮本議長が「本日の経験や気づきを、学校で共有するとともに、地域や社会の課題について考え、語り合い、行動するきっかけとしてほしい」と呼びかけました。

提言の内容はこちらからご覧いただけます。

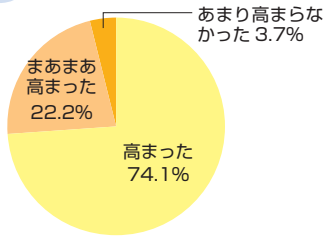


高校生議会参加者へのアンケート調査結果

Q1 高校生議会に参加してよかったと思いますか？



Q2 高校生議会に参加して、県議会に対する興味・関心は高まりましたか？



Q3 県政に関して、どのような課題に関心がありますか？
（自由記述式・複数回答可）

主な回答内容	回答人数
少子高齢化対策	5
空き家問題・対策	4
観光問題	3
若者の県外流出	3
リニア	3
若者の投票率	2

インド共和国友好訪問団

県議会は、八月十八日から二十三日までの日程で、インド共和国のデリー準州及びUP州を訪問しました。

今回の訪問は、県、県議会、経済界、教育機関などが参加する過去最大規模の訪問団によるものです。

訪問団に参加した県議会議員は、水素、人材、投資・企業連携、観光の各分野に分かれ、州政府機関や大学、研究機関、企業との意見交換を実施しました。

これを通じ、本県の先進的な水素技術やものづくり産業、豊かな観光資源とUP州の成長市場や豊富な人材との連携の可能性を確認し、今後の具体的な協力に向けた知見を深めることができました。

また、UP州議会との間で「友好交流に関する覚書」を締結しました。

この覚書は、両議会の継続的な交流と協力の基盤となるものであり、本県とUP州との関係を新たな段階へ発展させる重要な一歩となりました。

県議会では、今後も交流を継続し、その成果を政策提言や議会活動に生かしていきます。

UP州訪問の詳細はこちらからご覧いただけます。



友好交流の促進に向けた覚書を締結した宮本議長（中央左）とUP州マハナ議長（中央右）

山梨県議会インド友好訪問団

宮本　秀憲
山田　一功
水岸　富美男
卯月　政人
向山　憲稔
飯島　力男
石原　政信
中村　正仁
臼井　友基
桐原　正仁
渡辺　大喜
浅川　力三
白壁　賢一
飯島　修

望月大輔議員逝去

望月大輔議員（自由民主党新緑の会・甲府市選挙区）が令和八年八月二十四日に逝去されました。

農政産業観光委員長として地場産業振興に尽力されました。

ここに謹んで哀悼の意を表します。



紙面や議会広報へのご意見、ご希望をお寄せください。また、点字版・ホームページ上の音声版もご利用ください。

宛先　〒400-8501　甲府市丸の内1−6−1　山梨県議会事務局議事調査課　TEL 055-223-1814　FAX 055-223-1817　Eメール gijichosa@pref.yamanashi.lg.jp